

令和5年度「日本史基礎」シラバス

科目名	必修・選択	単位数	類型
日本史基礎	選択	2	文型・GC
教科書 副教材等	教科書：詳説日本史（山川出版社） 副教材：図説日本史通覧（帝国書院）		

1 学習目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

2 学習概要

- ・「歴史総合」における近現代史の学習成果に基づいて、我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、現代の様々な課題の形成に関わる近現代の歴史をより深く理解していきます。
- ・いろいろな資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめる力を更に身に付けるようにします。
- ・学習内容や調べた内容を多面的・多角的に考察したり、考察したことを説明したり、それらを基に議論したりします。

3 学習方法

- ・受け身にならないためにも事前に教科書を一通り読んで、問題意識を持って授業に望んでください。
- ・授業は真剣に、一言一句も聞きもらさず、メモを取るなどしてポイントをつかんでください。
- ・問題意識を持つためにも、質問することを恐れなくてください。疑問があったら積極的に質問したり、Chromebookなどを使用して調べてください。
- ・副教材のノートや授業のメモををしっかりまとめてください。
- ・日頃の「リアクションシート」をおろそかにせず、提出を必ずしてください。
- ・定期試験前には歴史用語はもちろん、その意味もよく理解して覚えてください。

4 評価について

(1) 評価方法

「知識・技能 (①)」、「思考力・判断力・表現力 (②)」、「学びに向かう人間性 (③)」の3観点で評価を行います。

具体的に評価方法以下の通りです。

「知識・技能 (①)」：定期試験・小テストなど

「思考力・判断力・表現力 (②)」：授業プリント・リアクションシート・発表など

「学びに向かう力 (③)」：ノート・提出物・授業態度・リアクションシート・発表など。

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能 (①)	思考力・判断力・表現力 (②)	主体的に学習に取り組む態度 (③)
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の近現代史の展開に関わる諸事象について地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に理解している。 ・諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の近現代史の展開に関わる諸事象の意義や伝統・文化の特色等を、多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察・構想したことを説明したり、それらを基に議論したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の近現代史の展開に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようと取り組むことができる。

5 学習計画

学期	単元名	学習のねらい（内容のまとめごと）	考査等
一学期	第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立 第13章 近代国家の展開（1）	<p>日本の開国や幕藩体制の崩壊と新政権の成立について、国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について探究する。</p> <p>明治維新や文明開化の風潮がどのように展開したかを理解・考察する。 由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解・考察する。</p> <p>日清・日露戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、追究する。</p>	中間考査 期末考査
二学期	第13章 近代国家の展開（2） 第14章 近代の産業と生活 第15章 恐慌と第二次世界大戦	<p>第一次世界大戦期以降の国際協調体制下における日本外交の展開を理解し、普選運動から政党内閣制成立に至るまでの意義について考察する。</p> <p>産業革命や近代産業の発展に着目して明治時代における資本主義の確立過程を理解するとともに、社会問題の発生と政府の対応について考察する。 大正時代の経済発展と大衆文化の成立について考察する。</p> <p>戦後恐慌・震災恐慌・昭和恐慌のなかで政党政治や協調外交が崩壊し、軍国主義が台頭し第二次世界大戦への道を歩んだのはなぜか、国民の動向に着目して考察する。</p>	中間考査 期末考査
三学期	第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代 第18章 激動する世界と日本	<p>敗戦後の占領政策は日本の社会をどのように変容させたか、また冷戦が日本の独立にどのように影響したかについて理解・考察する。</p> <p>高度経済成長をもたらした背景とは何だったのか、冷戦構造・55年体制に着目し、外交・政治・経済の面から多角的に考察する。</p> <p>石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩んだ日本がバブル経済を経て平成不況に至った過程を多面的・多角的に考察する。 冷戦終結後の国際社会のなかで、日本が果たすべき役割について考察する</p>	学年末考査